

# 電子入札システム インストールマニュアル

～ V4.3 ～

2023年1月版

松阪市 総務部 契約監理課

# 目次

1	はじめに.....	1
2	インストールを始める前に.....	2
3	インストール手順.....	5
3.1	インストールするもの.....	5
3.2	インストールの流れ.....	6
3.3	事前準備.....	7
3.3.1	インストーラの入手.....	7
3.3.2	インストーラの解凍.....	8
3.3.3	アプリケーションの終了.....	9
3.4	「電子入札システムクライアント V4」のインストール.....	10
3.4.1	インストーラの表示.....	10
3.4.2	インストーラの実行.....	10
3.4.3	認証ディスク読込用ドライブの選択.....	12
3.4.4	設定内容の確認とインストール.....	13
3.4.5	Windows の再起動(修正インストールでの手順).....	13
3.5	「電子入札システム通信プログラム松阪V2」のインストール.....	14
3.5.1	インストーラの表示.....	14
3.5.2	インストーラの実行.....	14
3.5.3	インストールの完了.....	16
4	信頼済みルート証明書登録の確認手順.....	17
4.1	証明書の表示.....	17
5	アンインストール(削除)手順.....	21
5.1	アンインストールの実行.....	21
6	参考情報.....	24
6.1	インストールに関する Q & A.....	24
6.2	電子入札システムの修正インストールが必要なケース.....	30

## 本書で使用している主なパソコン用語

### インストール

新しいソフトをパソコンに組み込むこと。

### アンインストール

既にパソコンに組み込んであるソフトを削除すること。

### OS

本マニュアルでは Microsoft Windows のこと。

### 管理者 (Administrator) 権限

Windows 搭載のパソコンで全ての機能を使えるユーザ権限。

# 1 はじめに

本マニュアルでは、電子入札システムプログラムのインストール（パソコンへの組み込み）方法について説明します。本書で使用しているパソコン画面の図と、お持ちのパソコンの画面では、ご利用のOSや設定環境の違いにより、デザインが若干異なることがあります。



必ずインストールマニュアル（本書）を見ながら、手順どおりにインストールしてください。手順どおりに行わないと、電子入札システムが正常に動作しない可能性があります。

マニュアル中のマークの説明



## 注意事項

電子入札システムをインストールする際の注意事項が記載されています。必ず確認してください。



## 参考情報

電子入札システムをインストールする際に役立つ情報が記載されています。

## 2 インストールを始める前に

電子入札システムをインストールする前に、以下の事項についてご確認ください。

### ◆ 『電子入札システム インストーラ』のダウンロード

電子入札システム ダウンロードページより電子入札システムのソフトウェアをダウンロードしてください。

### ◆ 動作環境の確認

ご利用のパソコンが以下の動作環境を満たしていることをご確認ください。

#### 対応 OS

Microsoft Windows 10 (64bit) Home / Pro

※Windows11 を含め、上記に記載のない OS (Windows XP / Vista / 7 / 8 / 8.1, Mac OS, Linux など) には対応していません。

※日本語版以外の Windows には対応していません。

※32bit 版の Windows には対応していません。



#### 対応ブラウザ

Microsoft Edge

※上記に記載のないブラウザ (Google Chrome, Internet Explorer11 など) には対応していません。

「Legacy 版」の Microsoft Edge には対応していません。

必ず「Chromium 版」の Microsoft Edge をご利用ください。

イメージ	Microsoft Edge	対応状況
	Legacy 版	電子入札システムを使用できません。
	Chromium 版	電子入札システムを使用できます。

## ◆ ハードウェア条件

項目	条件
機種	対応 OS に示す正規の Microsoft Windows を標準搭載する機種であること。 ※仮想マシン環境や複数 OS のデュアルブート環境での動作には対応していません。
メモリ	2 GB 以上のメモリを搭載していること。
ハードディスク	200MB 以上のハードディスク空き容量があること。
周辺装置	CD ドライブまたは DVD ドライブが備え付けてあること。 ※Windows で光学式ドライブとして認識され、CD-ROM・CD-R メディアの読み出しが可能であること。

## ◆ ポート番号

電子入札システムでは、パソコンの以下のポートを使用します。

他のソフトウェアでポートが使用されている場合は、対象のソフトウェアを停止してから電子入札システムをご利用ください。

ソフトウェア名称	ポート番号/プロトコル
電子入札システム通信プログラム松阪V2	9432/TCP

## ◆ パソコンに管理者権限のあるユーザでログオン

本マニュアルにて行う作業は、管理者（Administrator）権限を必要とします。  
インストールを開始する前に、管理者（Administrator）権限でログオンしてください。

## ◆ 外付け CD（DVD）ドライブを利用する際の注意点

USB 接続等の外付け CD（DVD）ドライブを認証ディスクの読込用として利用する場合は、インストール途中で認証ディスク読込用ドライブの指定をする必要がありますので、外付け CD（DVD）ドライブを接続したあとで、インストールを始めてください。

## 3 インストール手順

### 3.1 インストールするもの

電子入札システムを利用するためには、インストーラ内に含まれている、以下のプログラムをインストールする必要があります。

- 電子入札システムクライアント V4
- 電子入札システム通信プログラム松阪 V2
- 電子入札システム用認証局(Yokosuka City CA) ルート証明書

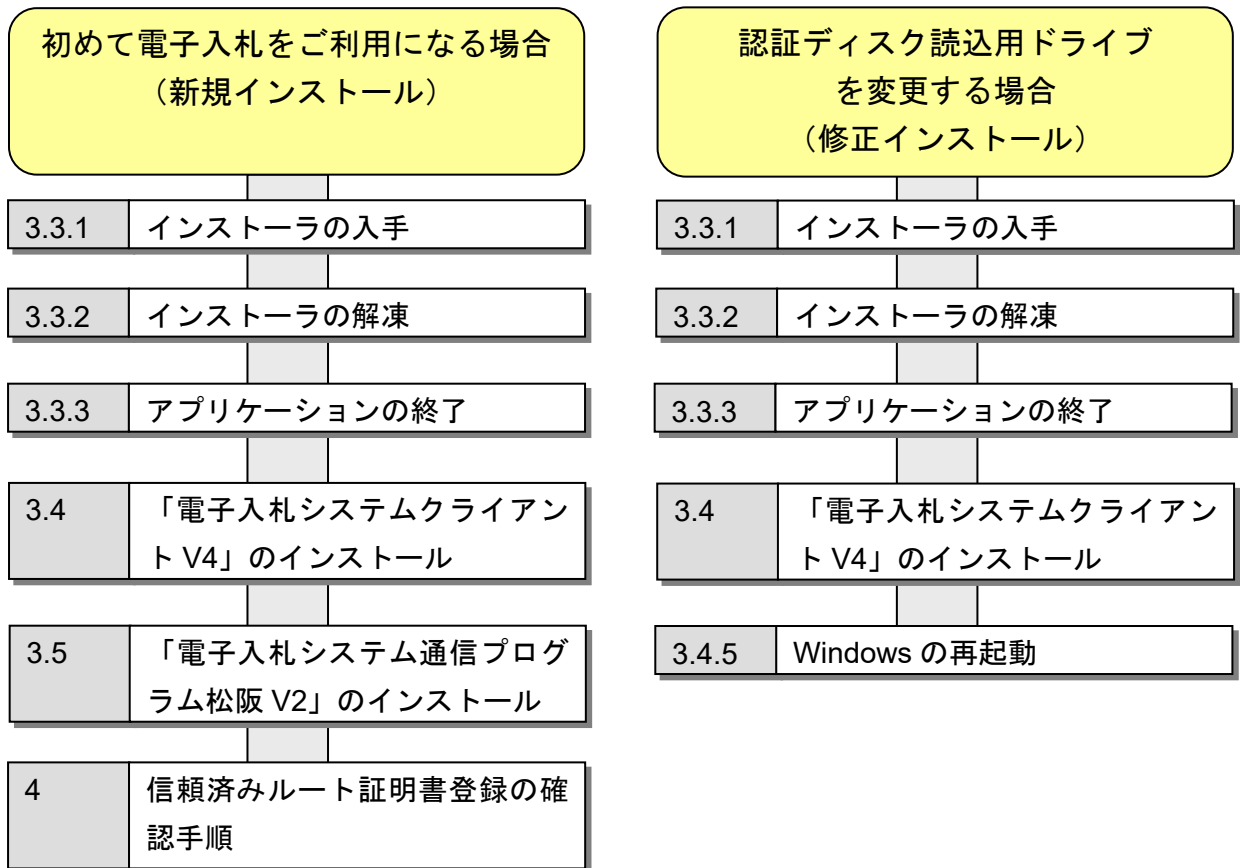


インストール中に『キャンセル』をクリックすると、作業が中断してしまい、インストールが正常に行われませんので、『キャンセル』しないようご注意ください。もし誤って『キャンセル』をクリックしてしまった場合は、最初からやり直してください。



## 3.2 インストールの流れ

初めて電子入札システムを利用（インストール）する場合と、認証ディスク読込用のドライブ変更などで修正インストールを行う場合で、操作する内容に若干の違いがあります。以下に概要を示します。



電子入札システムのインストール後に、認証ディスク読込用ドライブを変更するには、上図「認証ディスク読込用ドライブを変更する場合」の通り、修正インストールを実施する必要があります。

### 3.3 事前準備

#### 3.3.1 インストーラの入手

電子入札システムのインストールを行うためには、インストーラをダウンロードし、入手する必要があります。

##### インストーラのダウンロード



図 3.3.1-1 インストーラの保存①

【電子入札システムにログインして、メインメニューを表示します。メインメニュー上部のお知らせ欄の「電子入札システムのインストーラのダウンロードはこちらから→」のダウンロードのリンクをクリックしてファイルをダウンロードします。



図 3.3.1-2 インストーラの保存②

「ebid\_install\_v4.zip」と表示されていることを確認し、「名前を付けて保存」をクリックします。

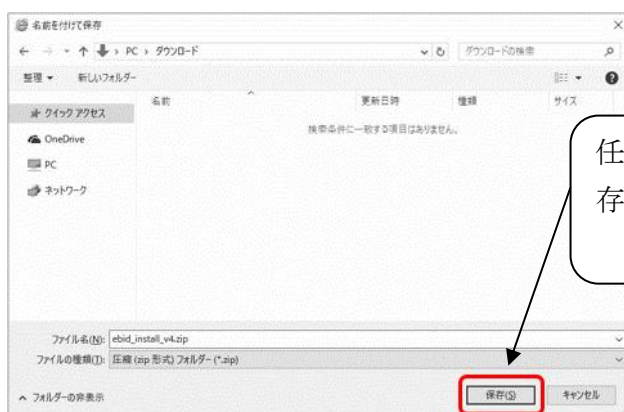


図 3.3.1-3 インストーラの保存③

任意のフォルダにファイルを「保存」します。

### 3.3.2 インストーラの解凍

ダウンロードした「ebid\_install\_v4.zip」ファイルは ZIP 形式の圧縮ファイルになっています。

ファイル圧縮・解凍ソフトを使用して、ダウンロードしたファイルを解凍してください。ここでは、Windows の機能を利用して解凍する方法を例として記載します。

#### ダウンロードしたファイルの解凍

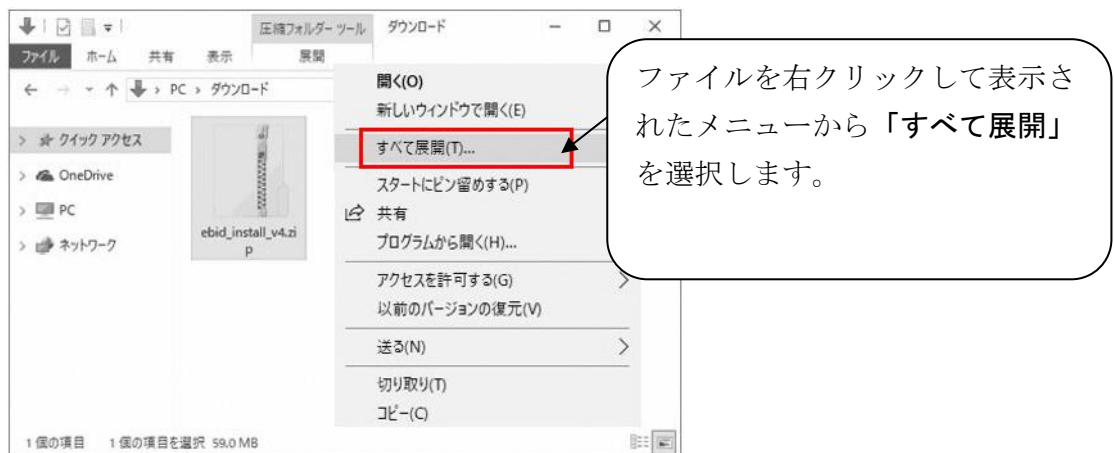


図 3.3.2-1 圧縮ファイルの解凍①

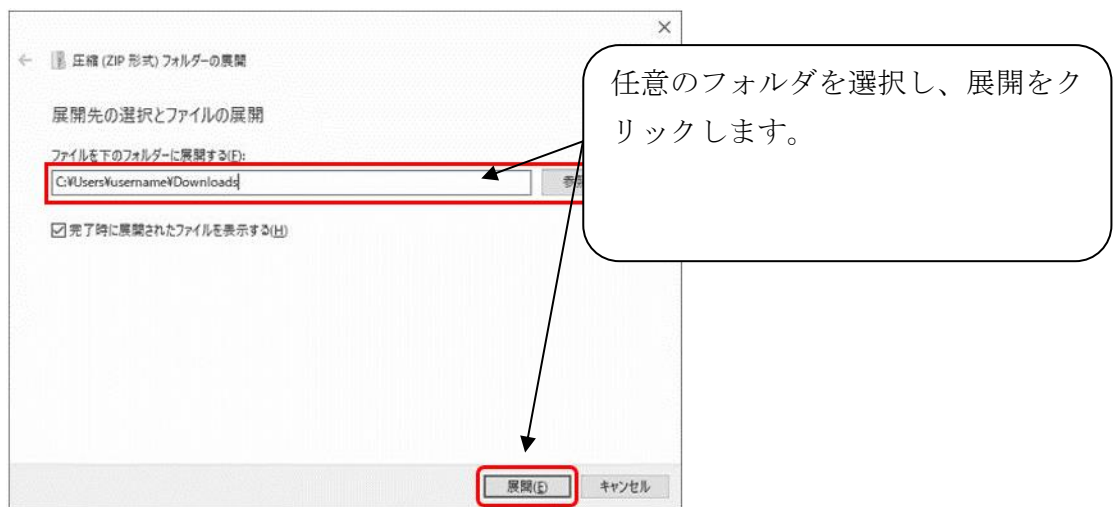


図 3.3.2-2 圧縮ファイルの解凍②

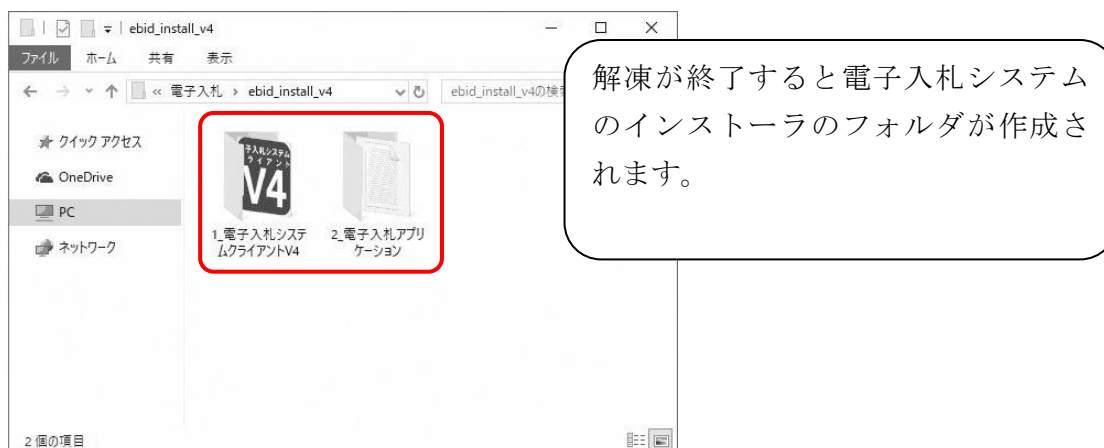


図 3.3.2-3 圧縮ファイルの解凍③

### 3.3.3 アプリケーションの終了

電子入札システムのインストールを行う前に、Microsoft Edge 等の利用中のアプリケーションを全て終了してください。

## 3.4 「電子入札システムクライアント V4」のインストール

### 3.4.1 インストーラの表示

「1\_電子入札システムクライアント V4」のフォルダを表示します。

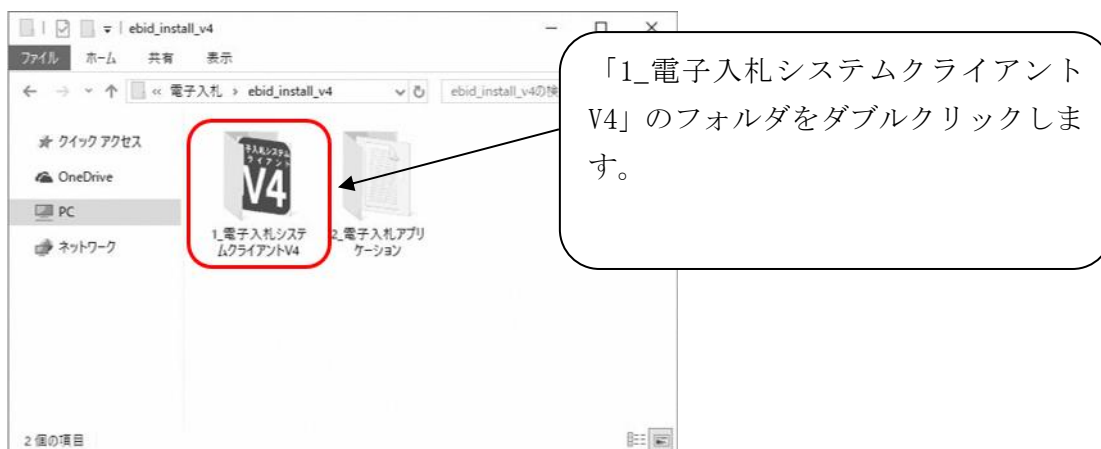


図 3.4.1-1 フォルダの表示

### 3.4.2 インストーラの実行

フォルダ内の「ebid\_setup.exe」を実行します。

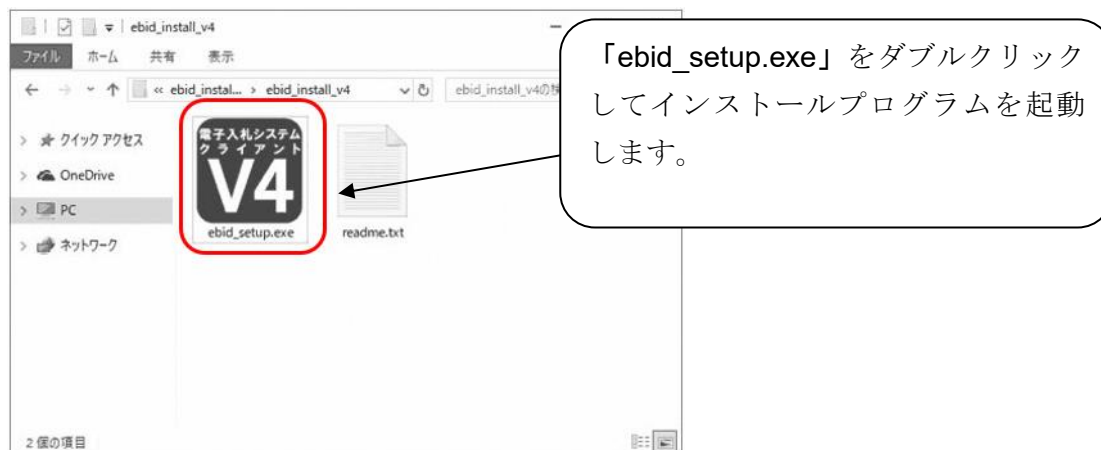


図 3.4.2-1 インストーラの実行

## インストーラの実行を許可する。

ユーザアカウント制御により、インストーラの起動が制限されることがあります。インストーラの実行許可を求められた場合は、実行を許可し、「ebid\_setup.exe」を実行してください。

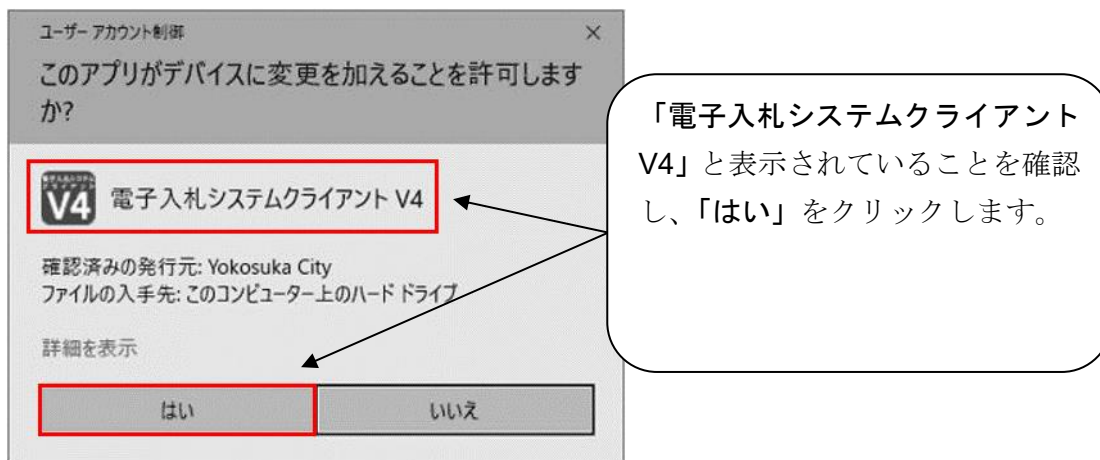


図 3.4.2-2 ユーザアカウント制御による制限

## 電子入札システムのインストールを開始する。

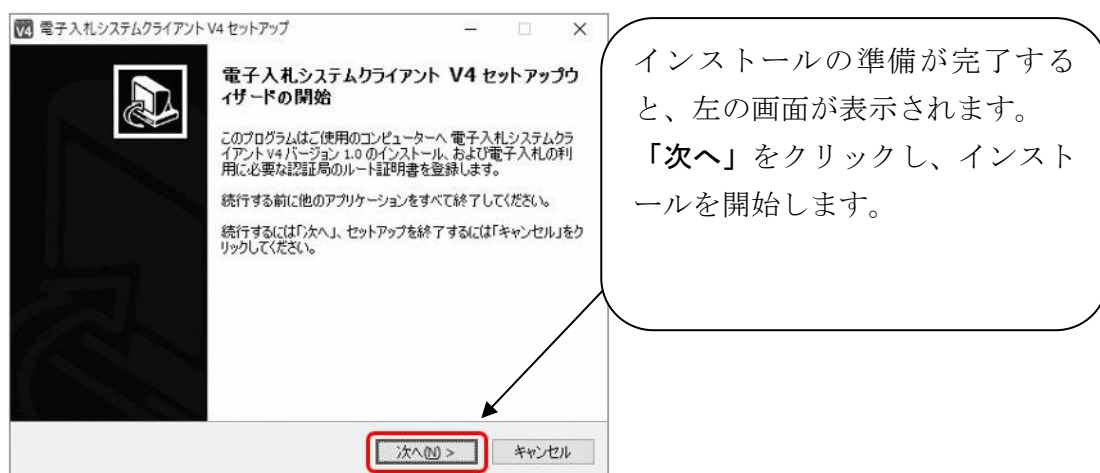


図 3.4.2-3 インストール開始画面

### 3.4.3 認証ディスク読込用ドライブの選択

入札書等の送付時に認証で利用する、認証ディスクの読込用ドライブを選択します。

#### 認証ディスク読込用ドライブの選択手順

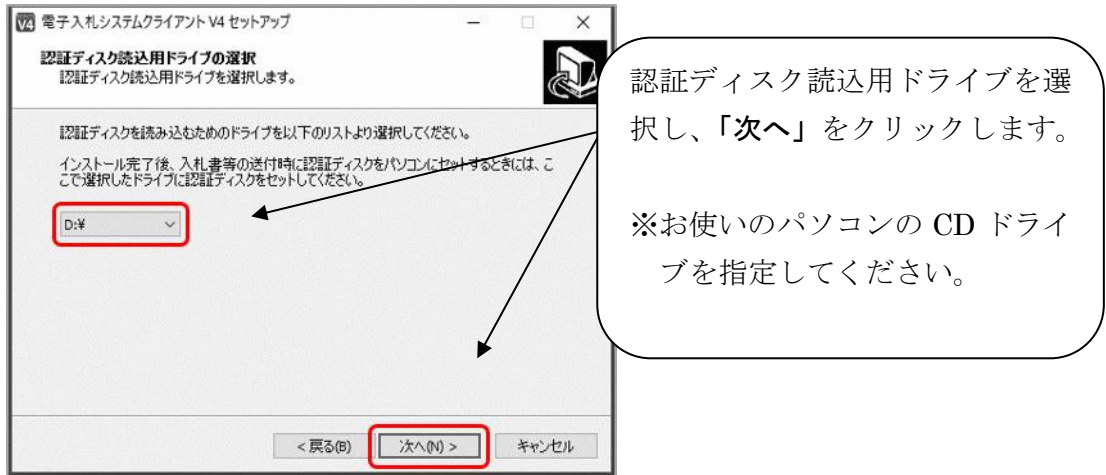


図 3.4.3-1 認証ディスク読込用ドライブ選択画面

#### 認証ディスク読込用ドライブ選択のヒント…



認証ディスク読込用ドライブを後から変更するためには、電子入札システムの再インストールが必要になります。

選択したドライブを忘れないようメモしておくことをお勧めします。

### 3.4.4 設定内容の確認とインストール

設定内容をもとに、電子入札システムのファイルをパソコンにコピーします。

#### ファイルのコピー手順 その1 設定内容を確認しインストールする。

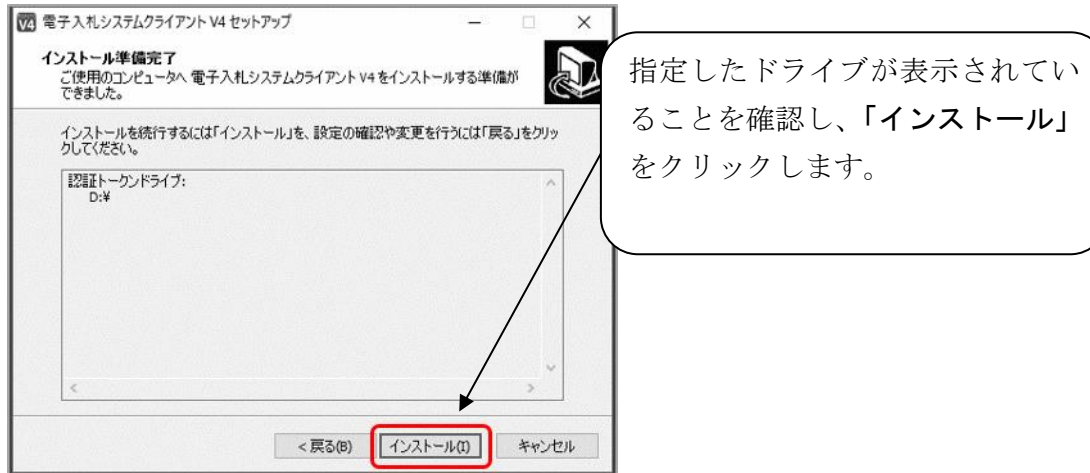


図 3.4.4-1 ファイルコピー開始画面

#### ファイルのコピー手順 その2 インストールを完了する。

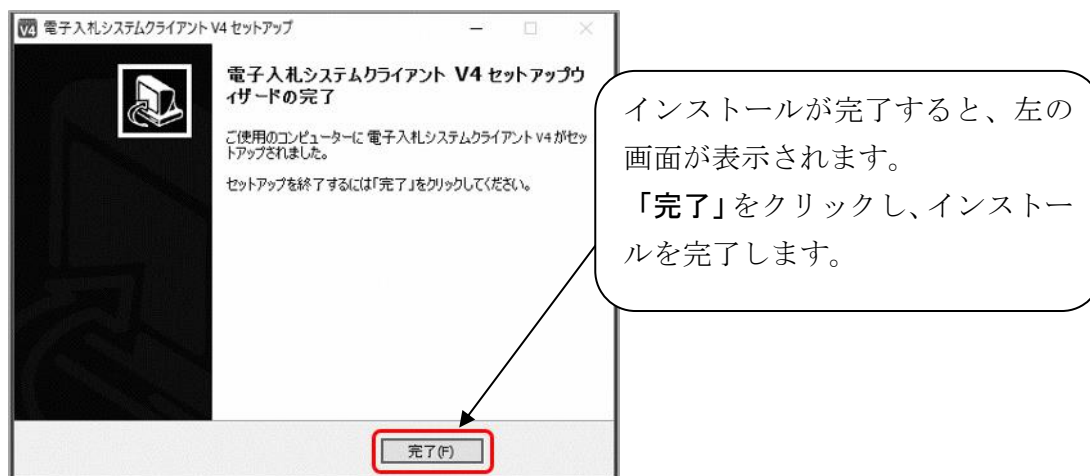


図 3.4.4-2 インストール完了画面

### 3.4.5 Windows の再起動(修正インストールでの手順)

認証ディスク読込用ドライブを変更するときなど、修正インストールを行う場合は、インストール完了後に Windows の再起動が必要になります。



電子入札システムのインストール後、自動的に Windows が再起動することはありません。必ず手動で再起動を実施してください。



## 3.5 「電子入札システム通信プログラム松阪V2」のインストール

### 3.5.1 インストーラの表示

「2\_電子入札アプリケーション」のフォルダをダブルクリックしてファイルを表示します。

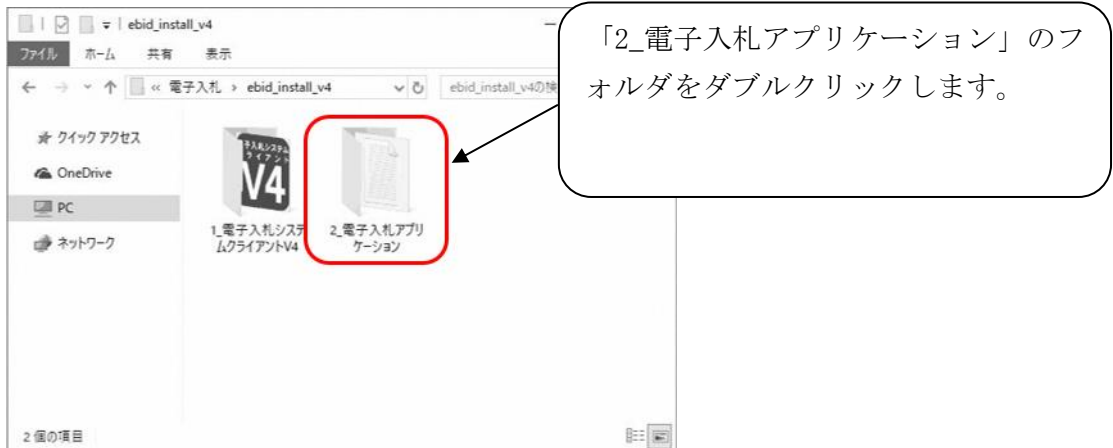


図 3.5.1-1 フォルダの表示

### 3.5.2 インストーラの実行

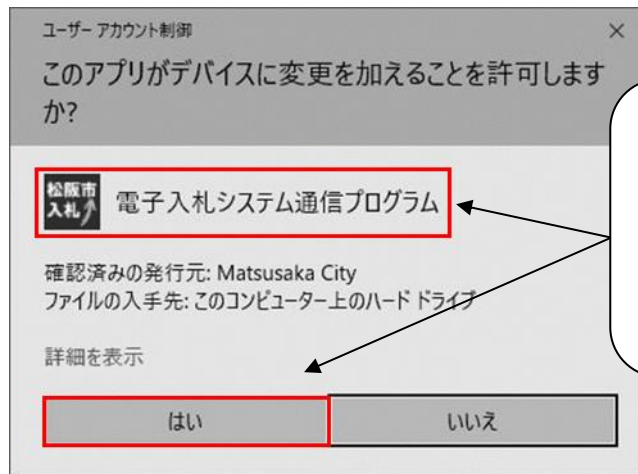
フォルダ内の「eblink-matsusaka\_setup.exe」を実行します。



図 3.5.2-1 インストーラの実行

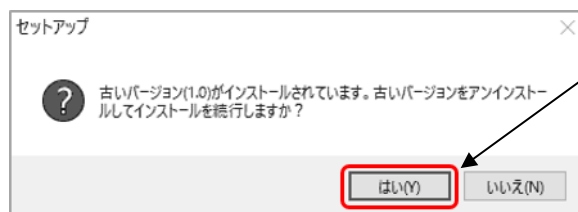
## インストーラの実行を許可する。

ユーザアカウント制御により、インストーラの起動が制限されることがあります。インストーラの実行許可を求められた場合は、実行を許可し、「eblink-matsusaka\_setup.exe」を実行してください。



「電子入札システム通信プログラム」と表示されていることを確認し、「はい」をクリックします。

図 3.5.2-2 ユーザアカウント制御による制限

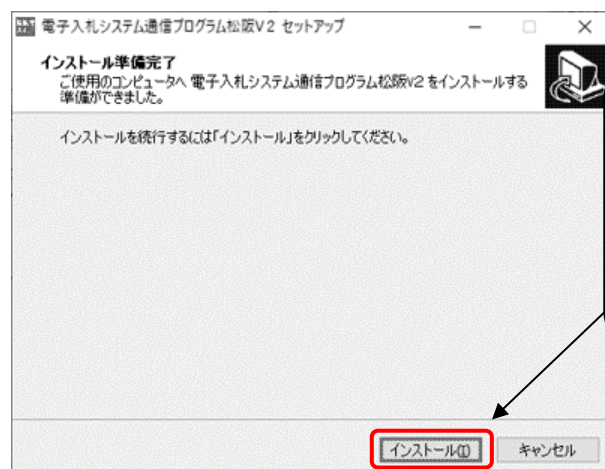


古いバージョンのソフトウェアがインストールされているパソコンでは、左のメッセージが表示されます。

「はい」をクリックし、インストールの処理を進めます。

図 3.5.2-3 バージョンのチェック

## 電子入札システムのインストールを開始する。



インストールの準備が完了すると、左の画面が表示されます。

「インストール」をクリックし、インストールを開始します。

図 3.5.2-4 インストール開始画面

### 3.5.3 インストールの完了

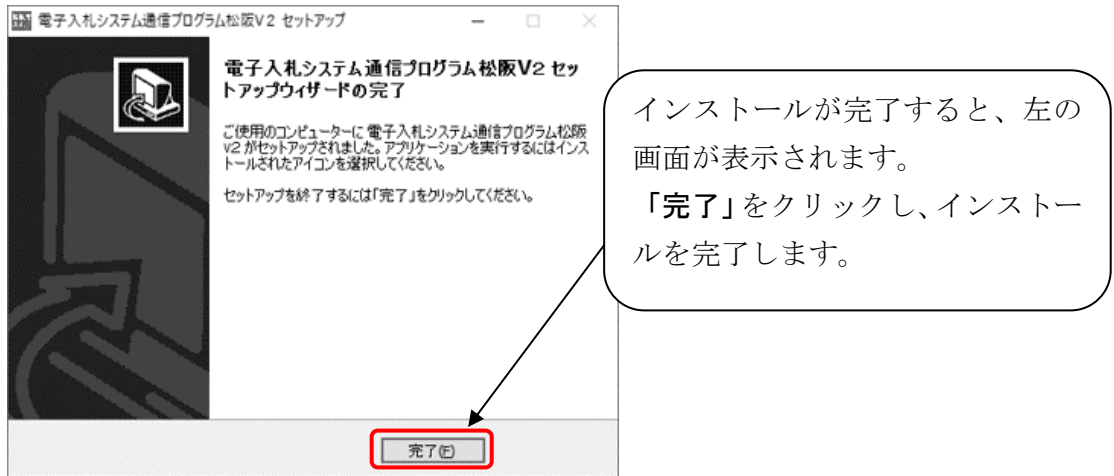


図 3.5.3-1 インストール完了画面

電子入札システムのインストール作業は完了です。


引き続き「4 信頼済みルート証明書登録の確認手順」を行ってください。

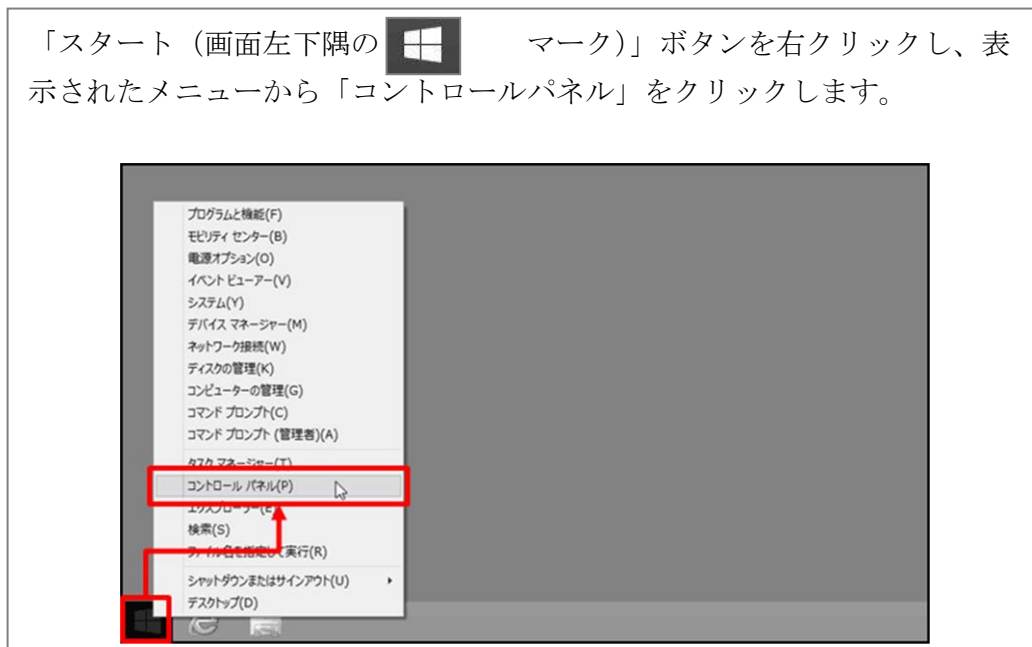
## 4 信頼済みルート証明書登録の確認手順

### 4.1 証明書の表示

1. コントロールパネルを表示します。

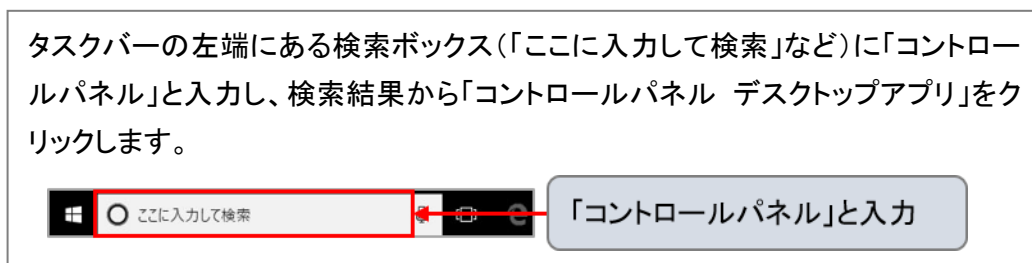
Windows 8.1

「スタート（画面左下隅の  マーク）」ボタンを右クリックし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。



Windows 10

タスクバーの左端にある検索ボックス（「ここに入力して検索」など）に「コントロールパネル」と入力し、検索結果から「コントロールパネル デスクトップアプリ」をクリックします。



2. コントロールパネルから「ネットワークとインターネット」を選択します。



図 4.1-2 コントロールパネル画面

3. ネットワークとインターネットから「インターネットオプション」を選択します。



図 4.1-3 ネットワークとインターネット画面

4. 「コンテンツ」タブをクリックします。

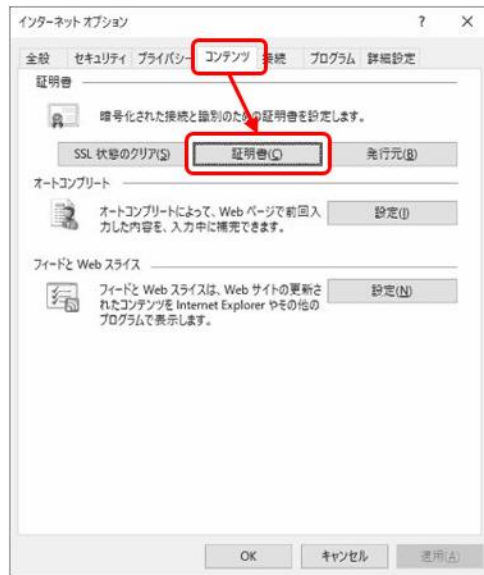


図 4.1-4 コンテンツタブ画面

5. 「信頼されたルート証明機関」タブをクリックします。
6. 発行先／発行者に「Yokosuka City CA」が登録されていることを確認します。
7. 「Yokosuka City CA」を選択し、「表示」をクリックします。

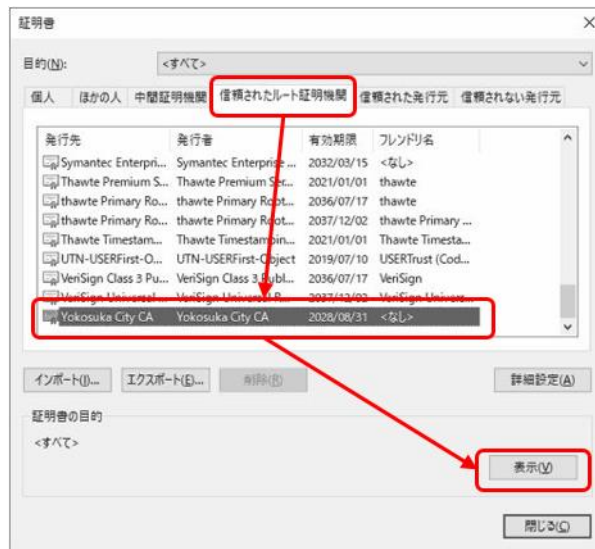


図 4.1-5 信頼されたルート証明機関タブ画面

8. 「詳細」タブをクリックします。
9. 電子入札システム用認証局(Yokosuka City CA) ルート証明書情報と一致することを確認します。

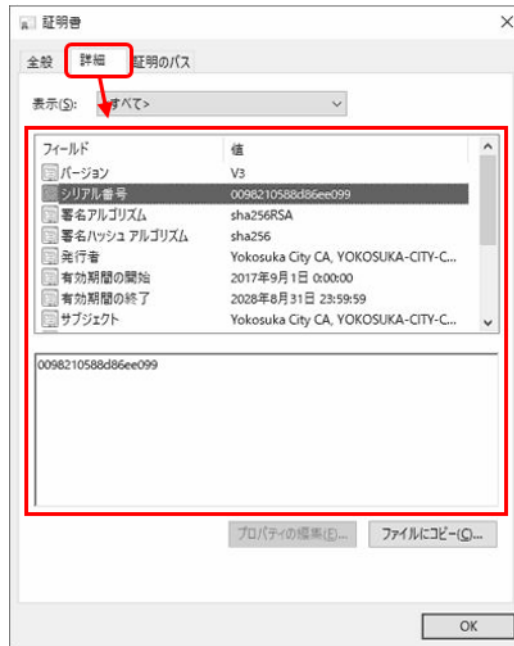


図 4.1-6 証明書詳細タブ画面

電子入札システム用認証局(Yokosuka City CA) ルート証明書情報

フィールド名	値
シリアル番号	0098210588d86ee099
発行者 サブジェクト	CN = Yokosuka City CA OU = YOKOSUKA-CITY-CA O = YOKOSUKA-CITY C = JP
有効期間の開始	2017年9月1日 0:00:00
有効期間の終了	2028年8月31日 23:59:59
拇印	a227dbb586afed4185522a256aa8d03aa5d64b6a

10. 「OK」 → 「閉じる」 → 「キャンセル」の順にクリックして画面を閉じます。

以上で電子入札システムの設定は全て終了です。

本市が用意する練習案件に参加し、入札書を送付できるかを確認してください。

※練習案件はシステム移行期などに限り、一時的にご利用いただけます。

## 5 アンインストール（削除）手順


### 5.1 アンインストールの実行

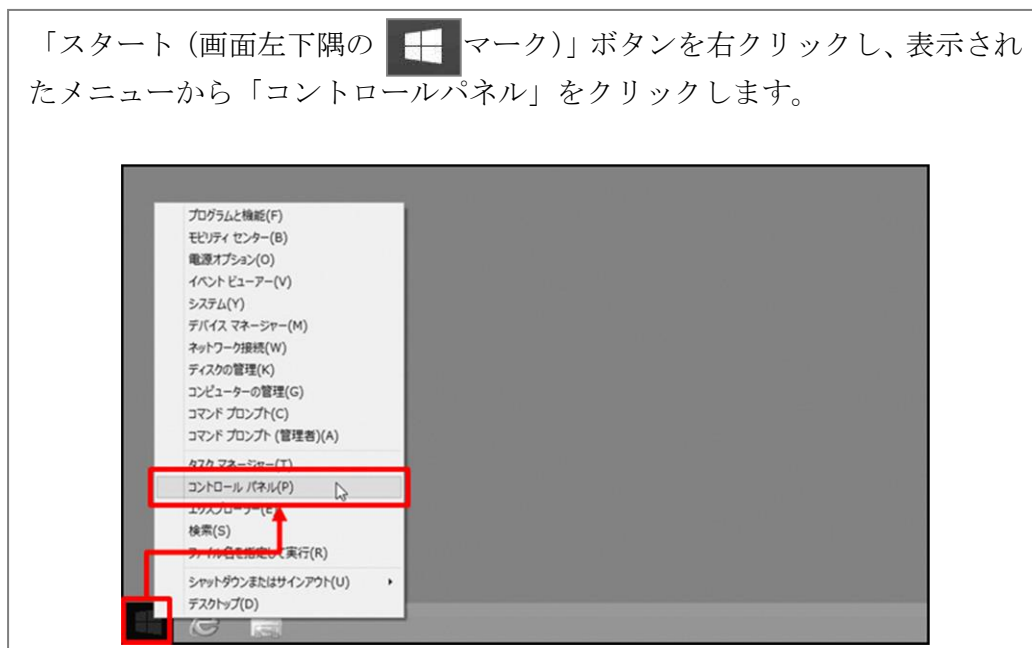
電子入札システムをご利用のパソコンから削除する場合は、Windows のコントロールパネルからアンインストールを行ってください。

アンインストール手順

1. 「コントロールパネル」を表示します。

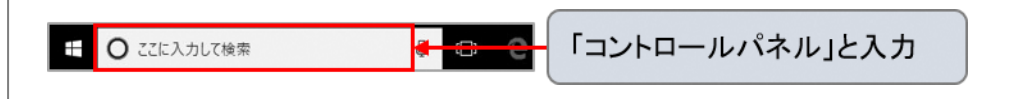
Windows 8.1

「スタート（画面左下隅の  マーク）」ボタンを右クリックし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。



Windows 10

タスクバーの左端にある検索ボックス（「ここに入力して検索」など）に「コントロールパネル」と入力し、検索結果から「コントロールパネル デスクトップアプリ」をクリックします。





2. 「プログラムのアンインストール（または「プログラムと機能）」をクリックします。



図 5.1-2 コントロールパネル画面

3. プログラムのリストから「電子入札システムクライアント V4」をクリックします。

4. 「アンインストール」をクリックします。

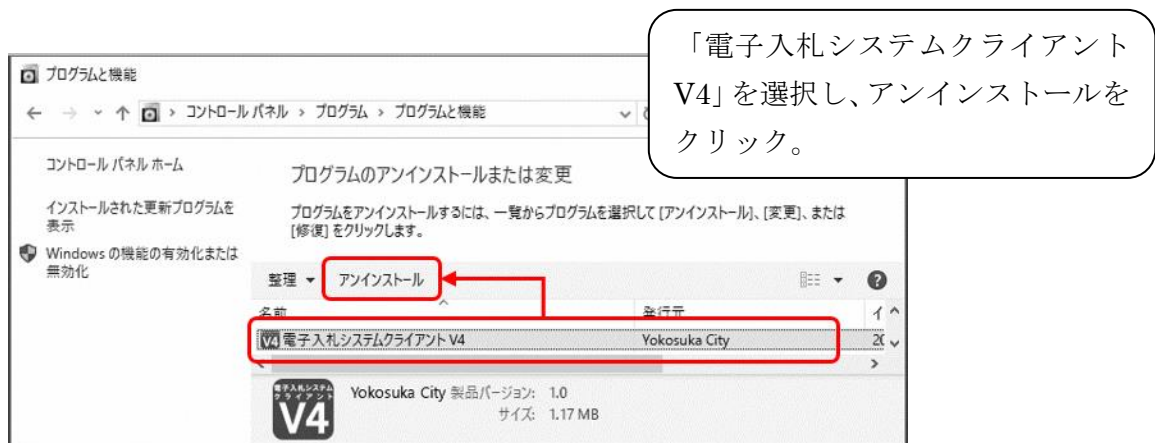


図 5.1-3 プログラムと機能画面①

5. 「完全に削除しますか？」の画面に対して「OK」を選択します。

6. 「電子入札システムクライアントV4」のアンインストール完了を待ちます。
7. 「プログラムのアンインストール (または「プログラムと機能」)」を表示します。
8. プログラムのリストから「電子入札システム通信プログラム松阪V2」をクリックします。
9. 「アンインストール」をクリックします。

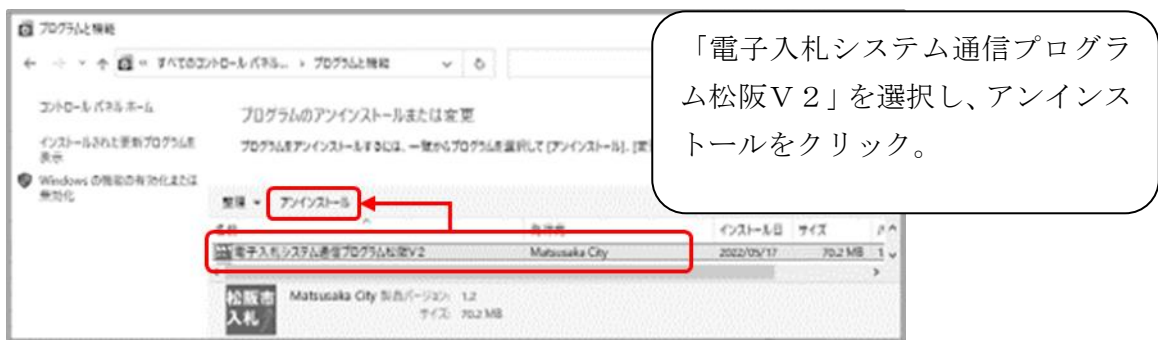


図 5.1-4 プログラムと機能画面②

10. 「すべて削除します。よろしいですか？」の画面に対して「はい」を選択します。

## 6 参考情報

### 6.1 インストールに関する Q & A

電子入札システムのインストールで疑問点等ありましたら、まずこちらを確認してください。

**Q** 管理者 (Administrator) 権限とは何ですか？

**A** Windows パソコンで全ての機能を使えるユーザ権限のことです。

#### ユーザアカウントの種類を確認する方法

1. Windows の「コントロールパネル」を表示します。
2. 「ユーザアカウント (Windows8.1 の場合：ユーザアカウントとファミリーのセーフティ)」、「ユーザアカウント」の順にクリックします。
3. アカウント情報に、「Administrator」と表示されている場合は、管理者権限のユーザアカウントです。



図 6.1-1 ユーザアカウント画面 (Windows 10)

**Q** 管理者 (Administrator) 権限がありませんがインストールできますか？

**A** 管理者権限がない場合、電子入札システムのインストールはできません。  
ご利用のパソコンの管理者に問い合わせて、管理者権限を取得してください。

**Q** インストールが正常に完了しているかの確認方法を教えてください。

**A** Microsoft Edge を使って本市が用意する練習案件に参加し、入札書を送付できるかを確認してください。

※練習案件はシステム移行期などに限り、一時的にご利用いただけます。


**Q** 事業所内の複数のパソコンにインストールしてよいですか？

**A** 複数のパソコンに電子入札システムをインストールしても問題ありません。

ただし、同時に複数人で電子入札システムにログインし、操作することはおやめください。

Q パソコンOSのバージョン (32 ビット/64 ビット) が不明です。

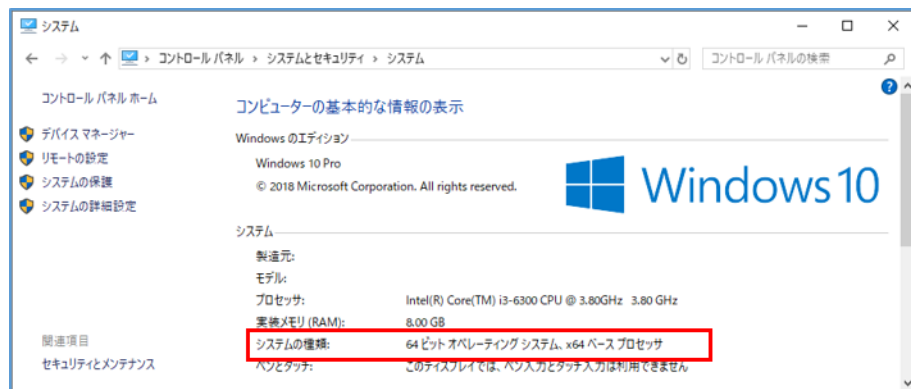
A 以下の操作手順を参考に確認を行ってください。

1. [Windows]キー  + [Pause]キー を押してください。

※お使いのキーボードの配列によっては[Pause/Break]となっていたり、一部ノートパソコンによっては、[Fn]キーを同時に押す必要がある場合があります。



2. 「コンピューターの基本的な情報の表示」が表示されますので、「システムの種類」を確認します。



システムの種類が「64 ビット オペレーティングシステム」と表示されていれば、64 ビット版の Windows がインストールされています。

Q Microsoft Edge のバージョンが不明です。

A Microsoft Edge の「設定」メニューから確認することが出来ます。

### Microsoft Edge のバージョン確認手順

1. Microsoft Edge を起動します。
2. 「設定」メニューを開き、「ヘルプとフィードバック」をクリックし、「Microsoft Edge について」をクリックします。

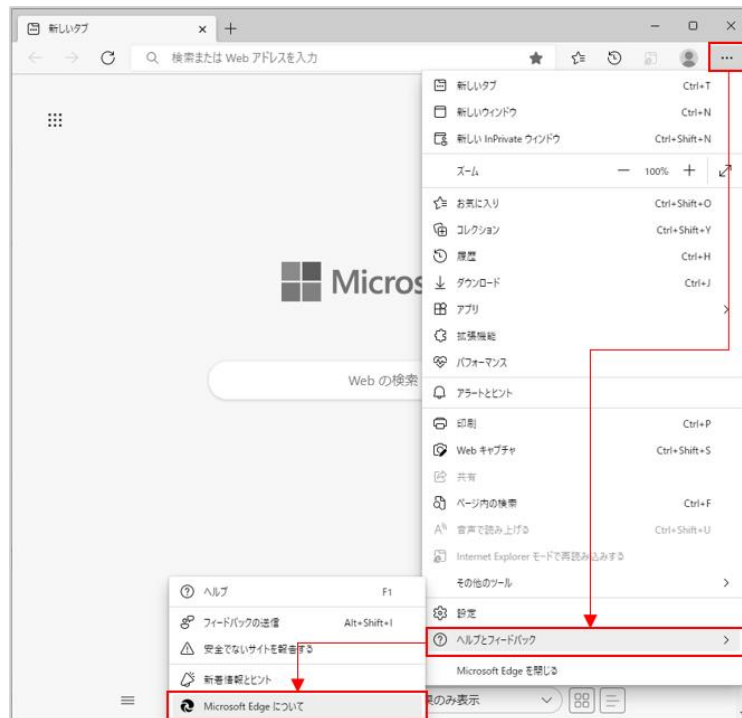


図 6.1-2 ヘルプメニューの表示 (Windows 10)

3. 表示されたバージョン情報を確認します。

### Microsoft Edge バージョン情報の例

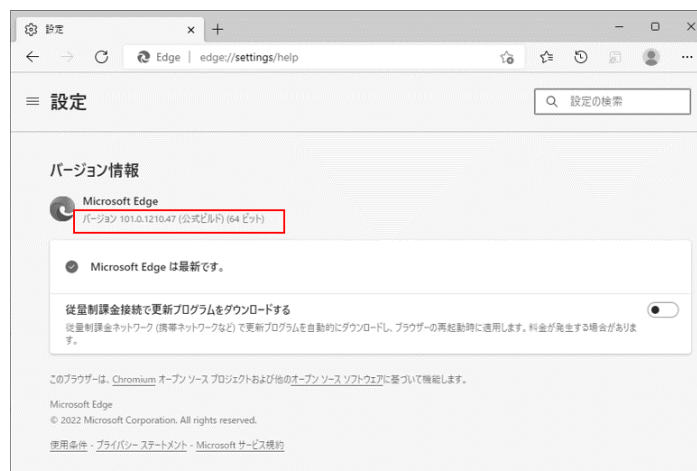


図 6.1-3 Microsoft Edge バージョン情報

**Q** 毎回、スタートメニューから電子入札システム通信プログラム松阪 V2 の起動が必要ですか？

**A** 電子入札の参加申請・入札書送信を行う場合は毎回電子入札システム通信プログラム松阪 V2 起動の必要があります。

起動手順を簡便化する方法として、次の **1**、**2** の方法があります。

**1** デスクトップ画面にショートカットを作成する。

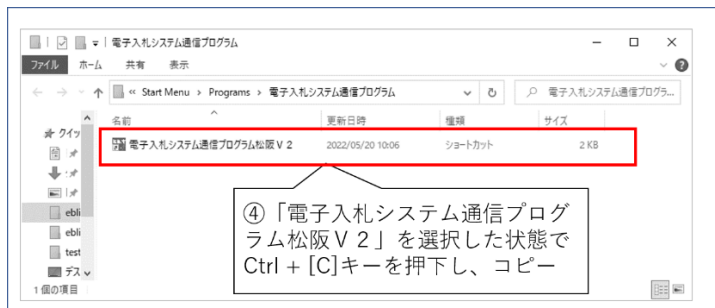
1-1. Windows10 の場合、スタートメニューを開き、以下の①～③の手順で「電子入札システム通信プログラム松阪 V2」のショートカットの場所を開きます。



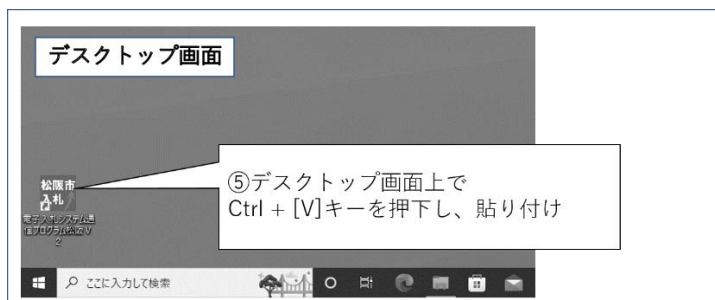
お使いの環境によってはスタートメニューを開いたあと、①の前に「すべてのアプリ」のクリックが必要な場合があります。



1-2. 「電子入札システム通信プログラム松阪 V2」のショートカットをコピーします。



1-3. 「電子入札システム通信プログラム松阪 V2」のショートカットをデスクトップ画面に貼り付けます。




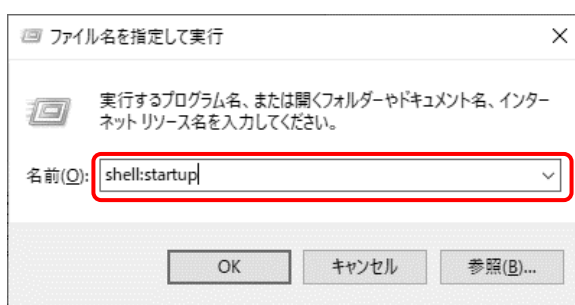
1-4. 「電子入札システム通信プログラム松阪 V2」のショートカットをダブルクリックし、プログラムが起動することを確認してください。

2 「スタートアップ」へ登録を行いパソコン起動時に毎回自動起動させる。

2-1. 前述の1-1、1-2の手順を行い「電子入札システム通信プログラム松阪 V2」のショートカットをコピーします。

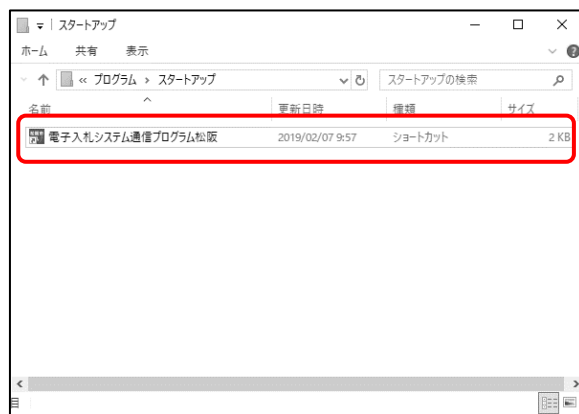
2-2. スタートアップメニューに登録します。

キーボードの「Windows」キー  を押しながら「R」キーを押すと「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されます。



名前欄に「shell:startup」を入力し、「OK」をクリックします。

2-3. スタートアップに登録するフォルダが開くので、2-1の手順でコピーした「電子入札システム通信プログラム松阪 V2」のショートカットを、「Ctrl」キー＋「V」キーを押下し貼り付けます。



2-4. Windows を再起動して、「電子入札システム通信プログラム松阪 V2」が自動で起動することを確認してください。

「電子入札システム通信プログラム松阪 V2」の自動起動を行いたくない場合は、ここに登録したショートカットを削除してください。



## 6.2 電子入札システムの修正インストールが必要なケース

電子入札システムのインストール後に、パソコンの構成などに変更がある場合に、修正インストールが必要となることがあります。

以下の項目に該当する場合は、本マニュアル「3.2 インストールの流れ」の「修正インストール」手順に従い、電子入札システムの再設定を行ってください。

### ● パソコンの構成に変更がある場合

パソコンにハードディスク装置を追加したとき等、パソコンの構成が電子入札システムインストール時から変更になる場合は、認証ディスク読込用ドライブ名がインストール時と同じドライブ名となっていることを確認してください。

インストール時に指定したドライブ名と異なる場合は修正インストールを行う必要があります。

例) インストール時に認証ディスク読込用ドライブを E ドライブで設定した場合は、入札書等の送付時も E ドライブである必要があります。

外付け CD (DVD) ドライブを利用している場合、複数の外付け機器を接続した時にもドライブ名が変わることがあります。



必ず修正インストールを行ってください。

電子入札システムが正しく動作しなくなる可能性があります。

### 商標等

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。マイクロソフト製品は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。